

# 宇治茶の郷

通信

vol.9  
(2008.9)



名水汲み上げの儀

豊臣秀吉が宇治川の水を汲んで茶会を開いた故事にちなみ、宇治橋「三の間」からシュロ縄につるした釣瓶で清水を汲み上げ、竹筒に移し、当時を想わせる衣装に扮した一行が、供茶の行われる興聖寺に運びます。

## 宇治茶まつり (宇治市)

毎年10月第1日曜日、宇治川畔一帯で開催される、茶どころ宇治ならではの古式ゆかしい行事。初めてお茶を中国より日本に伝えた栄西禪師、宇治に茶園を開いた明恵上人、茶道の始祖千利休の、茶の三恩人への感謝と宇治茶の隆盛を祈願します。当日は周辺一帯でも、茶席や「お茶のみコンクール」などさまざまな催しが行われ、観光客や市民で賑わいます。



茶壺口切の儀

興聖寺にて、今年摘まれた新茶を入れ、茶まつりの日まで封をして仏前に供えられていた茶壺の口を切ります。その新茶を石臼で抹茶に仕上げ、三の間に汲み上げた名水でお茶を点て、茶祖に供茶します。

ひろげよう 宇治茶の魅力

つなごう 人と地域の取組み

すすめよう 宇治茶の郷づくり

もくじ

P2 ..... [地域の取組み] 和束町「ほっこりサークル」  
宇治田原町「宗円さんの里づくり会」

P3 ..... [学 ぶ] 京都府立茶業研究所の研究成果①  
[味わう] 玉露の葉を使った・エコ cooking

P4 ..... [楽しむ] 10月、11月は「宇治茶の郷創月間」多彩なイベントが目白押し